

県内各学校の教育目標の設定状況は、次のとおりである。

82.2%の学校が「健康」を教育目標として設定しており、次に「豊かな情操」44.4%、「自主性」39.3%となっている（図2-3-29）。

健康がすべての生活の基盤であることからみて、多くの学校が「健康」を目標としていることは適切なものといえよう。また、青年前期にある生徒に豊かな心情を培うことを目標としている

学校が多くみられることは知・徳・体の調和のとれた人間形成を旨としていることがうかがえる。「自主性」、「責任」、「研究心」、「努力」など、自己確立をめざす目標を設定している学校が約30%あることは、中学校として望ましい方向を示しているといえよう。

また、教育目標は、学校、地域、生徒の実態に基づいて設定されるものである。本県の生徒の実態を各学校の生徒の「長所・短所の調査」（「義務教育課」（昭

51))をもとにしてみると、「すなおさ」、「純真」など性格面の良さはあるものの、積極的、自主的な生活行動が不十分であるため、学習の面にも大きく影響している様子がうかがえる。このようなことからみると、「自主性、積極性」をより重点的に教育目標として取り入れることが必要であろう。

次に、教育目標は、学校における教育計画の中に具体化され、それに基づいて日々の教育指導が実施されるのである。道徳・特別活動の指導計画は、約60%の学校が自校の計画を作成しているが、各教科については、いわゆる広域カリキュラムにたよっており、自校で作成しているのは約39%である（「義務教育課調査」（昭50））。

従って、今後は、教育目標を更に検討するとともに、教育目標達成のため、目標を具体化し教育諸計画に反映させていくための努力が必要である。

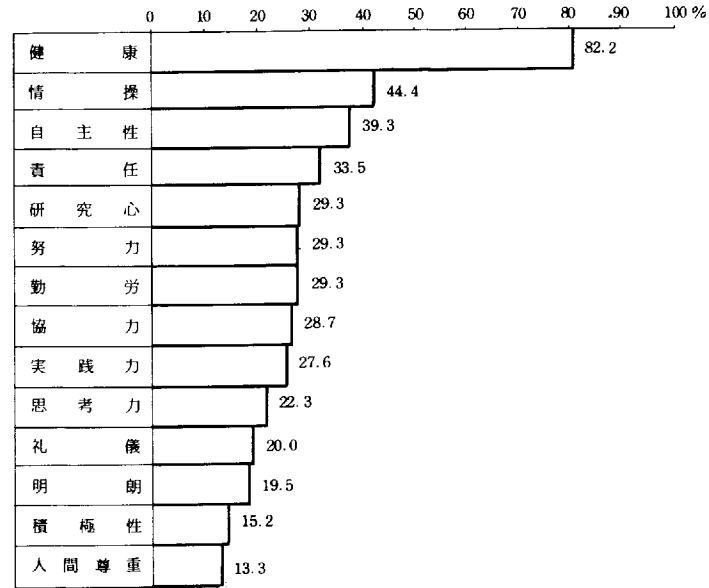
## (2) 教育課程

### ① 教育課程の編成と実施

#### ア. 年間授業日数及び年間授業時数、週授業時数

年間授業日数は、「学習指導要領総則第1教育課程一般8(1)」に、240日以上行うよう計画すると示されている。県内中学校の現況をみると、247～249日（「義務教育課調査」（昭51））が大部分であるが、約1%（約26校）の学校では、241～243日を計画している。これは、法令及

図2-3-29 教育目標の設定状況



注：1. 「義務教育課調査」（昭51）による。

2. 設定率 = (該当内容設定校数) ÷ (調査全学校数) × 100